



グランドマンション代沢

窓光

その向こうに
見えるもの。

今、あなたがいらつしゃる部屋の「窓」。
その「窓」からは、何が入ってくるでしょうか。
太陽の輝き、明るさ…「光」。
空、美しい自然、住み慣れた街の景色…「風景」。
心地よくそよぎ、季節を感じさせる…「風」。
部屋と屋外がつながり、広いと思える「開放感」も。
しかし、そんな窓も、良いことばかりとは言えません。
風や光よりも、騒音や暑さが気になることもあるでしょう。
窓は、良くも悪くも、住み心地に大きな影響を与えます。
窓に求められる要素は、立地環境によってもかわります。
グランドメゾンでは、
「窓が、住まう人に、
心地よさをもたらしてくれる存在となるために」
その地、そして住まい手、それぞれにとっての
「最もよい窓」を追求しています。
今回は、そこに込めた想いと工夫をお話しします。

Project Member



設計
課長 一級建築士
松本 孝之



設計
課長 一級建築士
高津 正



営業
課長代理 宅地建物取引士
丸本 和治

東京マンション事業部

外部空間と連続する、大きな窓

ひとくちに「窓」と言っても、その大きさも形もさまざまです。大きな窓と小さな窓では、その印象も全く異なります。
「周囲の風景をそのままリビングに取り込みたいときは、やはり、大きな窓をつくって、風景を満喫していたきたいですね」（丸本）
外からの視線を気にする必要がない高層マンションでは、大胆に大きな窓を設計することができます。タワーザ 上町台では、まるで景色の中に浮かんでいるような感覚を愉しむ、開放感にあふれるリビングが生まれました。また、グランドメゾン（以下、GM）大塚テラスでは、バルコニーへの連続感を大きな窓で表現しています。

「高層マンションでもなくとも、バルコニーがあれば、外からの視線を遮ることができます。GM武蔵野では、リビングがバルコニーとつながって一体空間に感じられるように、できるだけ窓を大きく取りました」（高津）
「GM吉祥寺コートでは、リビングとバルコニーを連続した空間として感じていただきたいかったので、窓による空間の仕切りを『意識させない』ように、できる限り細い窓サッシにし、室内とバルコニーの床の高さをぴったりと合わせて、つながった感覚を損ねないように気を配りました」（松本）
空間同士をつなぎ、感覚としての広さを拡げていくことができるのが、「大きな窓」の魅力と言えるでしょう。



1



2



3



4

- 1.タワーザ 上町台
- 2.GM大塚テラス
- 3.GM武蔵野
- 4.GM吉祥寺コート

大都市の眺望を手にする喜び、その景色の中に浮かんでいるような開放感を得られる。
バルコニーは、リビングの延長としてつながって感じられる。
大きな窓によってリビングにとりこまれたバルコニー
リビングとバルコニーを仕切る窓は、存在を主張しない、できるだけ細いものにするので、内と外の境界を感じさせない。



グランドメゾン西九条BIO